

(別紙5)

整理番号 2020P-109
補助事業名 2020年度 青少年の健やかな成長を育む 補助事業
補助事業者名 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

音楽を通じて、青少年の情操教育の推進を図り、その成果を広く一般に発表し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

春季演奏会（第20+1回演奏会）の実施

<https://mitaka-sportsandculture.or.jp/geibun/wind/event/20210321/>

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、収容率50%以下の256席を満席として開催した。現在音楽大学で学ぶ卒団生がソリストを務めるコンチェルト(協奏曲)の演奏、同じく卒団生で現在最も注目されている国内の若手指揮者の一人、熊倉優氏による委嘱新作「虹の橋～室内オーケストラのための～」の世界初演、演奏時間が約60分に及ぶハイドンの「想像上のオーケストラの旅」の演奏を通じて、子どもたちの日頃の練習成果を披露した。



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

秋季演奏会は、新型コロナウイルスの影響で8月末まで練習ができなかったため中止となったが、春季演奏会は（奏者間の距離を通常よりも広く取るために舞台面の拡張を行い、舞台至近距離の前2列の座席は売り止めにした。収容人数625席の50%以下に相当する256席を満席とするなどの）感染症防止対策を講じた上で開催した。公演に至るまで、非常に困難な状況が続いたのだが、仲間と安全に安心して練習に取り組み、公演を行うことを目標にした団員たちの行動には、目を見張るものがあった。事前に事務局から配布したガイドラインを参考にしながら、限られた時間を有意義に使いこなす姿に成長の跡が見られた。また、今回の演奏会では、現代の作曲家による新曲を、作曲家の意図を汲みながら自分たちの中から自然と沸き起こるような音楽に仕上げることで、モーツァルトやハイドンといった古典派の作曲家の様式を踏まえつつ、古楽演奏を参考にした新しい演奏解釈に挑戦すること、といった課題も用意されていたのだが、子どもたちは身構えることなくハードルを越えていったように思われる。子どもながらにそれぞれの音楽の本質を捉えた演奏は、来場者一人一人の心に残ったであろう。これらの難しい課題に取り組み、誰一人として投げ出すものが出なかったことは特筆すべきである。この経験を糧に、現代の音楽や新しい演奏形態の作品に取り組むことになったとしても、団員たちはきっと乗り越えられるであろう。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<https://mitaka-sportsandculture.or.jp/geibun/mjo/>

- ・ 第20+1回演奏会 チラシ 30,000部



- ・ 第20+1回演奏会 ポスター 300部



(別紙5)

・第20+1回演奏会 パンフレット 500部



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

住 所： 〒181-0012

東京都三鷹市上連雀六丁目12番14号

代 表 者： 理事長 土屋 宏

担 当 部 署： 芸術文化課

担 当 者 名： 主任 音楽企画員 大塚真実

電 話 番 号： 0422-47-9100

F A X： 0422-47-6700

E - m a i l： mami-otsuka@mitaka-sportsandculture.or.jp

U R L： <https://mitaka-sportsandculture.or.jp/>